



2025 年 4 月 4 日

各 位

会 社 名 レ ジ ル 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 丹 治 保 積
(コード番号：176A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 山 本 直 隆
TEL. 03-6846-0900 (代表)

東北電力が提供する「暮らしサービス」の運營業務支援開始のお知らせ

当社は、マンション一括受電サービスや法人向け電力小売サービスを通じて培ったシステム基盤・事業運営ノウハウを活かし、エネルギー関連企業の DX を支援する「エネルギーDX 事業」を 2021 年に開始し、「REZIL BPaaS (Business Process as a Service)」の提供を通じて、事業環境の激しい変化に直面するエネルギー関連企業の業務効率化等に寄与しております。

この度、東北電力株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長 社長執行役員：石山一弘、以下「東北電力」）の新規事業として開始され成長を続ける生活者向けサービス「暮らしサービス」の運營業務支援を開始しましたのでお知らせします。

当社と東北電力は、2022 年 3 月に資本業務提携を行っており、事業シナジーを生み出すべくこれまで継続的に協議してきました。その中で、当社が生活者向けのサービス運營業務を多く含む「REZIL BPaaS」を新規事業として開始し、数年の間に事業の安定化を実現する中で培ったオペレーション構築・改善のノウハウを活用することで、東北電力が推し進める新規事業の成長・拡大に向けてシナジーが創出できると考え、本取り組みの実現に至りました。

詳細につきましては、「別紙」をご参照ください。当社は、パーパスとして掲げる「結束点として、社会課題に抗い続ける」の実践と体現を通じて、今後もエネルギー業界の様々な企業と結束しながら、企業の枠を越えたエネルギー業界全体の脱炭素化推進に貢献することで、豊かな暮らしの実現に向けて取り組んでまいります。

以上

各位

2025年4月4日

レジル株式会社

レジルが東北電力の「暮らしサービス」において運営支援を開始 ～「REZIL BPaaS」を成長させたノウハウで、新規事業の強化を後押し～

「脱炭素を、難問にしない」をミッションとして掲げるレジル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：丹治保積、以下「当社」）は、この度、東北電力株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長 社長執行役員：石山一弘、以下「東北電力」）の新規事業として開始され成長を続ける生活者向けサービス「暮らしサービス」の運營業務支援を開始しましたのでお知らせします。



東北電力の「暮らしサービス」にて レジルが運營業務支援を開始

■ 本取り組みの背景

当社は、マンション一括受電サービスや法人向け電力小売サービスを通じて培ったシステム基盤・事業運営ノウハウを活かし、エネルギー関連企業のDXを支援する「エネルギーDX事業」を2021年に開始しました。エネルギーDX事業では、「REZIL BPaaS（Business Process as a Service）」の提供（※1）を通じて、事業環境の激しい変化に直面するエネルギー関連企業の業務効率、ひいては収益性を向上させることで脱炭素化への投資余力を生み出し、企業の枠を越えたエネルギー業界全体の脱炭素化推進に貢献することを目指しています。

「REZIL BPaaS」は、業務分析や改善に向けたコンサルティングからシステム構築・運用、BPOなどをクライアントのニーズに合わせてカスタマイズして提供するものです。サービス開始からの約4年間で、導入先企業数は14社、エンドユーザー数は45.2万ユーザー（※2）を突破し、クライアント企業の中には業務コストを

40%削減しながらエンドユーザーの満足度を 16 ポイント向上した実績も生まれています。

他方、東北電力はグループスローガンに「より、そう、ちから。」を掲げ、70 年以上の歴史を持つ電力会社として地域の方々に寄り添い、暮らしを支えてきました。電力業界を取り巻く社会情勢が大きく変化する中、電力にとどまらない新たなサービスを生み出し、生活者へ高い付加価値を提供すべく、2018 年から生活関連サービスの提供を開始しています。2022 年には「東北電力のくらしサービス」へとリブランディングを行い、安全・安心な暮らしを実現する新規事業として成長を加速しています。

当社と東北電力は、2022 年 3 月に資本業務提携を行っており、事業シナジーを生み出すべくこれまで継続的に協議してきました。その中で、当社が生活者向けのサービス運營業務を多く含む「REZIL BPaaS」を新規事業として開始し、数年の間に事業の安定化を実現する中で培ったオペレーション構築・改善のノウハウを活用することで、東北電力の新規事業の成長・拡大というシナジーが創出できると考え、本取り組みの実現に至りました。

■ レジル株式会社 代表取締役社長 丹治保積 コメント

私は福島県いわき市の出身で、生まれてから仙台での予備校時代まで、東北電力さまの電気とともに生活してきました。当社の経営に参画しエネルギーに携わる中で、電気が当たり前に見える裏側にあった同社のご尽力がいかに大きなものであったかを理解し、感謝の念を深めていたところです。今回の「REZIL BPaaS」の提供は、その恩返しになればと私自身も当社内の議論に入り、準備してきました。

「REZIL BPaaS」は、ミスミ、Amazon、楽天などの DX オペレーションの現場で鍛えられたメンバーが立ち上げ、14 社以上のエネルギー関連企業とともに磨き上げてきたものです。電気に加え、くらし向上のための新たなサービスを推進しようとする同社のサービス品質向上を DX オペレーションのノウハウで支えていければと思っています。

「結束点として、社会課題に抗い続ける」が当社の掲げるパーパスです。今後も、エネルギー業界の様々な企業と結束して、豊かなくらしの実現に向けた歩みを進めていきます。

※1：[「REZIL BPaaS」について](#)

※2：2024 年 12 月末時点

■ レジル株式会社について

レジルは「結束点として、社会課題に抗い続ける」をパーパスに掲げています。30 年間の事業運営で培った電力に関する知見にテクノロジーを掛け合わせ、エネルギーの最適制御を通じて脱炭素社会の実現に貢献します。

「脱炭素を、難問にしない」というミッションのもと、分散型エネルギー事業、グリーンエネルギー事業、エネルギーDX 事業の 3 事業を展開し、企業や生活者、さらには自治体にとって便利で安心な選択肢であると同時に、無意識に脱炭素に貢献できるサービスを提供しています。

企業情報

会社名：レジル株式会社（証券コード：176A）

代表者名：代表取締役社長 丹治保積

本社所在地：東京本社 東京都千代田区丸の内 1-8-1 丸の内トラストタワーN 館 14 階

設立日：1994 年 11 月 21 日

資本金：3.9 億円（2024 年 12 月末時点）

会社 HP：<https://rezil.co.jp>

事業内容：

【分散型エネルギー事業】集合住宅への電力供給及び分散型電源の開発

【グリーンエネルギー事業】法人への再生可能エネルギーを主体とした電力供給

【エネルギーDX 事業】エネルギー事業者への BPO 及び SaaS の提供を通じた DX 支援